

令和4年度
事業報告

公益社団法人 横浜歴史資産調査会

令和4年度事業の概要

「歴史を生かしたまちづくり」に大切な歴史的資産を、都市計画の視点から戦略的に調査・保全・活用を開始してから34年が経過した。

令和4年度も歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を生かした魅力溢れるまちづくりに向けて歴史的資産の調査研究をはじめ、保全・活用を目指した保護事業も積極的に実施した。

さらに「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために、広く市民や専門家を対象にセミナーや講演、シンポジウム等を開催した。

併せて、「歴史を生かしたまちづくり」を円滑に行うための普及啓発、人材育成事業を行った。

令和4年度に実施した具体的な事業は次のとおりである。

注) 氏名については敬称略。

所属・役職等については、事業実施時点のもの。

1. 歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）

（1）調査事業等

歴史的建造物保全・活用計画関連調査

歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を保全・活用するための調査を実施した。

調査は現地での歴史的資産の現状把握及び所有者へのヒアリング、文献調査、所見作成等である。調査結果は、当公益団体の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり推進事業」に活用するとともに、横浜市認定並びに登録歴史的建造物等への具体的な保全・活用をするために役立てることとした。

<自主調査>

① 旧湘南電鉄（現・京浜急行電鉄）瀬戸変電所の修復調査及び同変電所保存活用委員会の開催等（金沢区）

a. 保存活用委員会の開催等

旧湘南電鉄瀬戸変電所の保存活用を推進することを目的に、令和元年度に保存活用委員会を設置した。

令和4年度は、修理計画に向けた協議を行った。

その他、京浜急行電鉄、横浜市都市整備局都市デザイン室等との調整会議や、後藤治委員長からの助言等を頂いた。

【保存活用委員会構成メンバー】

委員長 後藤 治(工学院大学理事長)

委員 西澤英和(関西大学教授)

田村雅紀(工学院大学教授)

小野田滋(公益財団法人鉄道総合研究所情報管理部担当部長)

山本博士(公益社団法人神奈川台場地域活性化推進協議会理事長)

大野道夫(京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部工務課担当課長)

梶山祐実(横浜市都市整備局都市デザイン室長)

吉田鋼市(当公益団体副会長・横浜国立大学名誉教授)

オブザーバー

原 幸一(京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部工務課課長補佐)

太田大輔(京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部工務課主任)

事務局

米山淳一(当公益団体常務理事)

菅井 稔(当公益団体旧瀬戸変電所保存活用プロジェクト主任研究員)

亀井泰治(当公益団体研究員) ※横須賀市職員による協力

b. 修理計画調査

当公益団体が将来、京浜急行電鉄より寄贈を受け保存・活用計画を実施するに当たり、平成29年度は建屋のコンクリート等の耐震診断調

査及び現況把握調査を、平成 30 年度は地盤並びに建物の振動性及びレーザーを用いた建屋の鉄骨や鉄筋調査を行い、建屋は鉄骨や鉄筋を併用した強固な構造で建設されていることが判明した。

令和 2 年度に行った建物の具体的な構造補強や屋根、窓周りを中心とした外板の調査結果を踏まえ、これに関する経費算出のための専門家による現地調査等を令和 3 年度に行い、その結果をまとめ修理計画書が出来上がった。

調査者：株式会社長坂設計工舎 長坂健太郎、上村一貴

：株式会社栄港建設 佐田あゆみ

調査指導：後藤治(保存活用委員会委員長・工学院大学理事長)他

c. 事業化に伴う保存活用調査

建物は、立地条件などから事務所としての用途が認められているが、イベント的に作品展示会等の開催が可能である。そのため現代芸術のアーティスト、デザイナー、写真家、建築家などの事務所として貸し出しを予定し、これにそつた事業採算性を目的とした実践的な調査を行った。

調査者：AND150株式会社 野田恒雄

調査指導：亀井泰治（当公益社団研究員）

d. 3D画像による建屋の構造解析調査

特殊カメラを駆使し建屋の撮影を行い3D画像の製作を行った。

調査者：黒田泰介（当公益社団社員・関東学院大学教授）

以上の事業を年月を掛け、段階的に当公益社団の自費で行ってきた。

しかし、令和 4 年度は横浜市デザイン室との保存活用に向けた考えのずれが生じたため新たな事業展開はなかった。

それでも当公益社団では、試験的に活用を行うため、2階部分にトイレ、洗面設備などを設けるための工事見積を行った。さらにこれに関連して電気設備計画をたてたが、電力線の引き込み進入路の問題で東京電力と調整不足となった。

令和 5 年度には保存活用委員会を再開し、新たに鉄道遺産の保全拠点に向けた活動を推進する。

② 倉石忠雄家住宅現況把握調査等（長野県千曲市）

長野県北信地区の生糸や絹織物集散地として横浜と歴史文化的関係の深い千曲市稲荷山地区（国重要伝統的建造物群保存地区）にある旧倉石忠雄家住宅（元衆議院議員・労働大臣、農水大臣を歴任）の国重要文化財指定に向けての現況把握調査を平成 30 年度から継続で千曲市歴史文化財センターの調査費で実施している。

令和 4 年度は、千曲市文化財センターのご指導で、伝統的建造物としての修理計画を検討した。

調査日：令和4年12月13日(火)

矢島宏雄(元千曲市歴史文化財センター所長)

担 当：米山淳一(当公益社団常務理事)

③ 旧モーガン邸再建計画等(藤沢市大鋸)

不審火で焼失した旧モーガン邸の再建を目指し、平成29年度に当公益社団で実施した復元再生計画調査の結果を踏まえ、再建に向けた再建委員会を組織し、委員会を開催した。(委員名簿は(2)②参照。)

委員会では、具体的な再建方針や募金計画の検討を行い、この結果を踏まえ、事務局で作成したパンフを広く配布し、募金活動を行った。

また、一方で、日常管理や運営を行っている「NPO法人旧モーガン邸を守る会」、土地の7割を所有する藤沢市(担当・生涯学習部郷土歴史課文化財担当)、当公益社団の3者で構成する「モーガン邸再建活用検討会」(ほぼ毎月第3金曜日に開催)にて、これまでの取り組みを随時報告するとともに再建に向けた問題や課題に関して話し合った。また、竣工時の姿を残す、中門の国登録有形文化財への登録に向けて文化庁、神奈川県、藤沢市と今後の取り組みを調整した。

<受託調査>

歴史的建造物の保全計画案等の検討【横浜市負担金事業】

① 歴史的建造物の概況調査等

- a. 池谷家住宅(港北区綱島東)
 - ・建物の保存活用手法に関する事業者等との意見交換
調査者：大野 敏(当公益社団理事・横浜国立大学院教授)
- b. 高田家住宅及び蔵(鶴見区)
 - ・建造物の現況調査
調査者：大野 敏(当公益社団理事・横浜国立大学院教授)
- c. 横浜郵船ビル(中区本町)
 - ・保存活用に関する意見聴取
調査者：吉田鋼市(当公益社団会長・横浜国立大学名誉教授)
黒田泰介(当公益社団社員・関東学院大学教授)
- d. インド水塔(中区山下町)
 - ・レリーフの復元等の手法検討・助言
調査者：青木祐介(横浜開港資料館副館長)
- e. 杉沢堰(緑区三保町)
 - ・保全活用に関する現地調査
調査者：中藤誠二(当公益社団社員・関東学院大学教授)
- f. カットリック山手教会聖堂(中区山手町)
 - ・助成工事に当たっての手法と技術的助言
調査者：関 和男(当公益社団副会長・関東学院大学名誉教授)
- g. 山手西洋館 近澤邸(中区山手町)
 - ・認定に向けた意見交換
調査者：関 和明(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)

- h. ビロス邸
 - ・認定に向けた意見交換
調査者：白川葉子（建築家）
- i. 歴史を生かしたまちづくりビジョン
 - ・策定中のビジョンに関する意見聴取
調査者：後藤 治（工学院大学理事長）
：西村幸夫（国学院大学教授）
 - ・策定中のビジョンの近代建築に関する意見聴取
：田村誠邦（明治大学特任教授）

② 登録又は認定歴史的建造物の候補である建造物等の調査

- a. 山手ビロス邸(中区山手町)
 - ・所見作成・登録
調査者：水沼淑子(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)
- b. 杉沢堰(緑区三保町)
 - ・所見作成・認定
調査者：中藤誠二(当公益社団社員・関東学院大学教授)
- c. 高田家住宅及び蔵(西区高島)
 - ・所見作成・登録
調査者：大野 敏(当公益社団理事・横浜国立大学教授)
- d. 根岸馬見所（中区山手町）
 - ・所見作成・登録
調査者：水沼淑子(関東学院大学名誉教授)
- e. 山手133番館ブラフ積擁壁(中区山手町)
 - ・所見作成・登録と認定
調査者：阿部貴弘(日本大学教授)

③ 認定歴史的建造物に関する保全活用計画案の策定又は変更案の作成

- a. 杉沢堰(緑区三保町)
 - 調査者：中藤誠二(当公益社団社員・関東学院大学教授)
- B. 山手133番館ブラフ積擁壁
 - 調査者：阿部貴弘（日本大学教授）

④ 歴史的建造物に関する制度等の検討

歴史的建造物の保存活用に向けて、新たな制度や仕組みを作っていくにあたり、横浜市文化財保存活用地域計画作成と、歴史的建造物台帳登録調査に関してのヒアリングを、専門家及び学識経験者に行った。

(イ) 歴史を生かしたまちづくり相談室の実施

歴史を生かしたまちづくり推進事業を円滑に進めるために、より広く市民等から関連の情報を頂く相談室を開設している。令和4年度は新規相談2件、前年度からの継続3件であった。

① 西教寺（南区三春台）※継続

昭和7年建造の鉄筋コンクリート造りである西教寺本堂は、住職や専属の設計業者から横浜市認定歴史的建造物または横浜市指定有形文化財への希望があり、当公益団体では令和元年度に建物の現況調査や所有者へのヒアリング調査を行ったところであるが、令和4年度は、大野 敏氏（当公益団体理事・横浜国立大学教授）のご指導によって将来の横浜市文化財指定に向けた方向性を所有者らと相談した。

② 谷戸家住宅の維持管理（磯子区滝頭）*継続

谷戸家住宅は、磯子区に残る昭和初期の近代和風建築である。所有者のご意向で、現状のまま住み続けたいとしているが、若夫婦は風呂や台所をはじめ水回り等を現代の生活に合わせた設備に更新したいと所有者の父を説得するがなかなか理解を得られない。

そこで、建物を尊重して改修するため指導依頼の相談がり、小沢朝江さん（当公益団社員・東海大学教授）に所有者の意向と建物の現状把握を行っていただいた。所有者は将来にわたり、建物と屋敷全体を大切に守ってゆきたい意向を示され、戸袋など傷んだ箇所の修理を行うにあたり、熟練の職人を紹介して欲しい等の要望があった。合わせて横浜市の登録、認定歴史的建造物制度や国登録有形文化財制度の説明を行った。相続税や固定資産税についてもアドバイスをを行った。

③ 旧井上良斎登り窯と谷戸の景観保全（南区永田東）※継続

平成29年に南区役所区政推進課まちづくり担当と所有者の川井興一氏からの依頼で相談室案件となり、平成29年度から現地を訪問。これが縁となり、再び南区から都市デザイン室に依頼があり、保存に向けた取り組みが始まった。

現在、市民団体である「登り窯と永田の自然を守る会」がこの地で活動しており、地区全体を将来に亘り保全し、後世に伝え残したいと南区区政推進課まちづくり担当者から当公益団体が所有保全する方向での打診があった。しかし、都市デザイン室との調整不足もあり、進展していない。

④ 旧長濱検疫所一号停留所の保存（金沢区長浜）*新規

明治期の検疫の拠点だった旧長濱検疫所施設の中でも一番大規模な木造建築が一号停留所である。現在は国の登録有形文化財で、厚生労働省の所有だが、施設機能が新たな地に移転するに伴い、解体の危機にある。これを地元で保全活用するべく活動しているのが「NPO法人野口英世よこはま顕彰会」である。同会は、現地での保全活用を目指すべく活動中で、保存に向けた相談があり、アドバイスや講演などを通じ、交流を深めた。

しかし、時が進むにつれ同NPO法人と地元町内会との保存活動や考え方のずれが表面化した。保存に向けた合意形成に至らぬまま、厚労省と横浜市の間では、海の公園への移設保存が進みつつある。

しかし、同NPO法人は、現状の地から半径200m以内に移設し、保存・活用することを諦めていない。

○講演会の開催

1, 令和4年6月18日(土)

講演者: 米山淳一(当公益社団常務理事)

演題: 横浜の歴史を生かしたまちづくり

2, 令和4年10月8日(土)

講演者: 米山淳一(当公益社団常務理事)

演題: 開港5都市の歴史を生かしたまちづくり

3, 保存活用活動に向けた助言等

令和4年9月6日(火)

助言: 米山淳一(当公益社団常務理事)

令和4年9月21日(水)

助言者: 吉田鋼市(当公益社団会長・横浜国立大学名誉教授)

米山淳一(当公益社団常務理事)

⑤ 伊藤美弓家住宅(鶴見区馬場) *新規

公益財団法人緑の協会からの委託事業で職員や市民向けのセミナーや歴史講座を行っている。令和4年11月19日(土)の馬場花木園内古民家・藤本家で西脇敏夫(当公益社団監事)が行った横浜の歴史を生かしたまちづくり・アーバンデザイン50周年の歴史講座の参加者から「倒壊しそう」と相談があったのがこの案件。

これを受け、水沼淑子(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)が所有者の意向や現況把握にお伺いした。

昭和30年代竣工の洋画家木下孝則氏のアトリエ建築である。戦後建築らしいモダニズムの外観を備えていて、南側一部や塗装を更新しているが大部分は手がはっていない。

伊藤美弓さんは、この建物を残して行きたいという意思が強く、お手伝いを続けてゆきたい。

(ウ) 俣野別邸庭園内歴史的建造物の助言・指導

[公益財団法人横浜市緑の協会受託事業]

平成29年4月から公開された「俣野別邸庭園」(横浜市戸塚区)の管理運営に関する助言や同庭園の職員研修セミナーをはじめ、同協会が管理する山手西洋館等の「○職員研修セミナー」、「●市民向け歴史講座」を令和4年度も行った。

●令和4年11月17日(木) 13時30分~14時30分

山手西洋館ベーリックホール 市民向け歴史講座

講師: 水沼淑子(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)

演題: 「山手西洋館の魅力」

—西洋館を造った建築家たち—

- 令和4年11月17日(木) 14時～15時
俣野別邸庭園 職員研修セミナー
講師：米山淳一(当公益社団常務理事)
演題：「みんなのシビックプライド」(1)
—飛騨高山の町並みと白川郷の合掌造り—
- 令和5年11月19日(土) 11時～12時
馬場花木園(古民家・藤本家住宅) 市民向け歴史講座
講師：西脇敏夫(当公益社団監事・都市プランナー)
演題：横浜の歴史を生かしたまちづくり
—アーバンデザイン50周年—
- 令和4年11月21日(月) 14時～15時
野島公園旧伊藤博文金沢別邸の職員向けセミナー
講師：小林紀子(横浜市歴史博物館学芸員)
演題：「武州金沢藩 米倉家」
- 令和4年11月25日(金) 13時30分～15時30分
山手西洋館ベリックホール 市民向け歴史講座
講師：菅 孝能((株)山手総合計画研究所会長)
演題：「山手の見方と歩き方」
- 令和4年12月15日(木) 14時～15時
俣野別邸庭園 職員研修セミナー
講師：米山淳一(当公益社団常務理事)
演題：「みんなのシビックプライド」(2)
—みんなの力で蔵の街・川越は残った—
- 令和5年1月19日(木) 14時～15時
俣野別邸庭園 職員研修セミナー
講師：米山淳一(当公益社団常務理事)
演題：「みんなのシビックプライド」(3)
—薩摩藩の武家屋敷 出水・知覧～日向の湊町・美々津の町並み—
- 令和5年2月16日(木) 14時～15時
俣野別邸庭園 職員研修セミナー
講師：菅 孝能((株)山手総合計画研究所会長)
演題：「地域の文化遺産 湘南の別荘建築 西湘地区」
—大磯から小田原・箱根—
- 令和5年3月11日(土)14時～15時
俣野別邸市民向け歴史講座
講師：水沼淑子(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)
演題：「西洋館の魅力 藤沢を中心として」

(2) 保護事業

<自主事業>

①野毛都橋商店街ビルの保全・管理(横浜市中区)

平成29年9月に公益財団法人横浜市建築助成公社より寄贈を受けた「野毛都橋商店街ビル」の保全・活用を行った。

また、各店舗の故障した煙熱探知器の取り換え、防災設備の検査や点検をおこなった。

さらに、映画やコマーシャルのロケ地撮影を通じて歴史文化的価値をアピールし、合わせて使用料を建物保全のための寄付金として頂いた。

☆ロケ撮影を行った番組等(10本)

- ・NHKBSプレミアム新日本風土記
「横浜・野毛」(初回放送22年6月24日)
- ・演劇ポスター
「演劇「リザンテラ」下北沢シアター711(9月28日～10月2日)
- ・自主短編映画
「ゴミ屑と花」約25分 国内外の映画祭に出品予定
- ・同人誌(写真集)
コスプレイヤーを撮影した写真集(同人誌即売会で販売)
- ・WOWOW連続ドラマ
大岡昇平原作「事件」(全4話)日曜日22時枠にて放送予定
- ・映画「イカロス片羽の街」
秦基博の新曲関連の映画(横浜の映画館にてイベント上映)
- ・テレビ東京系連続ドラマ
「弁護士ソドム」主演・福士蒼汰 毎週金曜日夜8時から
- ・フジテレビ系連続ドラマ
「風間公親-教場0-」主演・木村拓哉 毎週月曜日夜9時から
- ・TVCM(音楽サービス)
刑事ドラマのような展開のコマーシャル
- ・書籍「味なたてももの探訪シリーズ 横濱建築(仮)」
横浜の特色ある建築を紹介するガイドブック(12月発売予定)

②「建築家 J. H. モーガン自邸」(藤沢市)の再建・保存・活用

当公益団体では、「旧モーガン邸再建委員会」を設け、準備会を含めて、4回の委員会を開催し、再建に向けた募金計画やパンフレットを作成した。

また、敷地内の車庫、温室、ポンプ庫小屋、正門、中門等について火災保険、さらに敷地内トラブル対策のために損害保険に継続加入した。

NPO 法人旧モーガン邸を守る会、藤沢市生涯学習部郷土歴史課文化財担当と力を合わせて「モーガン邸再建活用検討会」(ほぼ毎月第3金曜日開催)を開催し、再建委員会と歩調を合わせて事業を展開した。

また、「NPO 法人旧モーガン邸を守る会」主催の募金コンサートや庭園公開他の活用イベントに共催するなど積極的に協力した。

◎旧モーガン邸再建委員会名簿

- 委員長 水沼淑子(当公益団体理事・関東学院大学名誉教授)
- 委員 大野 敏(当公益団体理事・横浜国立大学院教授)
- 小沢朝江(当公益団体の社員・東海大学教授)
- 菅 孝能((株)山手総合計画研究所会長)

徳重淳子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事長）
福永雪子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会副理事長）
堀 靖子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事）
栗山直子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事）
佐藤里紗（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事）

事務局 米山淳一（当公益社団常務理事）
門倉正幸（当公益社団総務担当）

◎委員会の開催

準備会 令和3年11月22日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第1回 令和3年12月13日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第2回 令和4年1月17日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第3回 令和4年3月7日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第4回 令和4年6月10日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第5回 令和4年11月20日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室

*再建と活用管理に関する部会を適宜、開催している。

(3) 普及啓発、人材育成事業

セミナー・シンポジウム等の開催及び刊行物の作成

歴史を生かしたまちづくりを推進するためには、市民、専門家、企業等の理解や参加が大切である。歴史的資産の保全・活用のための普及啓発を目的としたセミナー等の開催及び刊行物の作成を、以下のとおり行った。

<自主事業>

① シルクロード・ネットワーク・神戸市 2022 大会開催支援

令和3年11月に神戸市において開催する計画であったが、神戸市と調整し、令和5年2月25日(土)26(日)に開催した。

*当公益社団が代表幹事団体として事務局を担っている。

○2月25日(土)見学会

KIITO—神戸港湾施設—（税関・倉庫群・再開発事業）—神戸市立博物館（1F 常設展示）—旧居留地—海岸通り—（15 番館ほか・南京町・乙仲通り・神戸港）—神戸港クルーズ&交流会（コンチェルト）

○2月26日(日)フォーラム会場 KIITO

(デザイン・クリエイティブセンター神戸)

開 会 米山淳一（当公益社団常務理事・RAC 理事）

来賓ごあいさつ

基調講演 「歴史まちづくりの可能性」

森井康裕氏（国土交通省都市局公園緑地・景観課
景観・歴史文化環境整備室長補佐）

基調講演 「伝統的建造物群制度を生かしたまちづくり」

大石崇史氏（文化庁文化財第二課伝統的建造物群部門文化財調査官）

神戸からの報告

基調講演① 「神戸絹の道―「養蚕秘録」を訪ねて」
次六尚子氏（神戸ファッション美術館学芸員）

基調講演② 「1938・神戸港―油彩画をしらべてみたら、
生糸貿易・博覧会などが」
中村善則氏（元神戸市博物館学芸課長）

基調講演③ 「未来を紡ぐカイコ」
鈴木健夫氏（シメックス株式会社学術研究部）

基調報告 「養父市における養蚕関連施設の活用」
谷本 進氏（養父市教育委員会文化課）

事例報告 川越市、横浜市

コメンテーター 後藤 治（工学院大学理事長・RAC 理事）・米山淳一

閉会・総括 後藤 治

②日本鉄道保存協会総会 2022 横浜市大会開催支援

鉄道150周年記念事業に合わせて令和4年9月25日(木)～26日(金)の2日間、鉄道発祥の地、横浜市において開催した。

*当公益社団が代表幹事団体として事務局を担っている。

*開催内容の詳細は、鉄道開業150周年事業の項をご参照ください。

③「コンサート in ヘリテージ～ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol. 9～」 （第15回横浜山手芸術祭参加企画）

令和5年2月に開催の第15回横浜山手芸術祭参加企画として計画されたが、感染症拡大のため、同祭の一般参加募集が中止となったので、令和5年度に延期した。

③ かながわヘリテージマネージャー協会との協働と支援

神奈川県主宰で行っていたヘリテージマネージャー制度が終了後、活動が一時停滞していた同協会は、役員を一新し、新たな活動を開始した。この機会に当公益社団では、同協会と歴史的建造物等の調査、保存、活用に向けて、力を合わせていくことで合意。また歴史を生かした市民相談室案件の緊急調査等にヘリテージマネージャーの参加を促した。

④ 鉄道開業150周年記念事業の実施

新橋―横浜間に鉄道が開業して令和4年（2022）で150周年を迎えた。近代横浜の発展の礎となった鉄道の開業を祝し、記念事業を行うべ

く、日本鉄道保存協会と力を合わせて設置した委員会で計画した記念事業を実施した。

内容は、記念ロゴの作成、神奈川県内や横浜市内の鉄道遺産調査、調査成果の冊子発行・配布、調査成果の展示イベント、見学会の開催など、文化庁、全国近代化遺産活用連絡協議会、日本鉄道保存協会、横浜市都市デザイン室等と協働で行った。

◎委員会名簿

- 委員長 古賀 学（当公益社団理事・松蔭大学教授）
委員 岡田 直（横浜都市発展記念館・主任調査研究員）
小野田滋（公益財団法人鉄道総合技術研究所担当部長）
北村圭一（元横浜市港湾局港湾整備担当部長）
齊藤大起（神奈川新聞文化部記者）
菅 建彦（公益財団法人交通協力会顧問）
二階堂行宣（法政大学准教授）
オブザーバー 北河大次郎（文化庁文化財調査官・近代化遺産担当）
事務局担当 米山淳一（当公益社団常務理事）
河合桃子（当公益社団事業担当）
田中光一（当公益社団広報担当）

—鉄道開業150周年実施事業一覧—

◎記念ロゴマークの作成

篆刻家 古田悠々子先生の作品

◎全国近代化遺産活用連絡協議会鉄道遺産部会フォーラムの開催

- ・写真展示「私たちのまちの鉄道遺産～横浜・神奈川を中心に～」
8月30日（火）～9月16日（金）
会場：横浜みなと博物館特別展示室
- ・シンポジウム
9月15日（木）会場；横浜みなと博物館会議室
挨拶 森まゆみ（当公益社団理事・作家）
基調講演 小野田滋（公益財団法人鉄道総合技術研究所担当部長）
演 題 「神奈川・横浜の鉄道遺産の魅力」
- ・事例発表
小樽市、小坂町（秋田県）、桐生市（群馬県）、安中市（群馬県）
公益社団法人横浜歴史資産調査会、NPO 法人愛岐トンネル保存再生委員会、しなの鉄道（長野県）、京都市、新居浜市（愛媛県）、
若桜町（鳥取県）、大牟田市（福岡県）、荒尾市（熊本県）、人吉市（熊本県）
- ・9月16日（金）午前中・見学会
汽車道、赤煉瓦倉庫、ハンマーヘッド他

◎日本鉄道保存協会・見学会・総会・シンポジウム

・9月16日（金）午後・見学会
横浜市電保存館、本牧公園D51、旧高島機関区転車台、
神奈川臨海鉄道本牧駅C56、瑞穂橋梁、京急ミュージアム

・9月17日（土）総会・シンポジウム
会場：横浜みなと博物館会議室
記念講演：増淵文夫（当公益社団社員・ものづくり大学名誉教授）
演題：鉄道遺産をまちづくりに生かすー汽車道の魅力ー
シンポジウム・パネラー 倉内健一（北海道遠軽町参事）、
花上嘉成（元東武博物館名誉館長）、村上真善（NPO 法人愛岐トン
ネル保存再生委員会理事長）、手嶋康人（北九州線保存会代表）
コーディネーター・大島登志彦（高崎経済大学名誉教授）

◎横浜都市発展館常設展示にて神奈川・横浜の主な鉄道遺産写真、
鉄道資料と模型展示、日本鉄道保存協会の活動を紹介
令和4年10月1日～令和5年3月中旬まで

◎鉄道遺産調査報告書作成
横浜市、神奈川県内の鉄道遺産調査の成果をまとめた報告書
「鉄道の記憶 横浜・神奈川編」の作成と配布

◎第44回歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催
・9月18日（日）
テーマ「鉄道の記憶を生かした横浜のまちづくり」
講演1：米山淳一（当公益社団常務理事）
演題：「全国の鉄道遺産を生かしたまちづくり」
講演2：岡田 直（横浜都市発展館主任研究員）
演題：「横浜の都市と鉄道」
講演3：北村圭一（元横浜市港湾部港湾整備担当部長）
演題：「みなと未来21・像の鼻パークの整備」
対談：北村圭一×米山淳一
*横浜市都市デザイン室と共催 60名参加

◎ツーリズム EXPO ジャパン事業協力
・9月22日（木）～25日（日） 東京ビッグサイトで開催
公益社団法人日本観光振興協会の会員として協力
配布資料「鉄道の旅」の編集制作
日本観光振興協会（鉄道開業150周年）ブース運営協力
日本観光振興協会主催シンポジウム参加
（10月21日（水）～22日（木）島根県松江市）

<受託事業>

歴史的建造物に関する調査・研究及び普及啓発等業務委託[横浜市受託]
歴史的資産の保全・活用に関して市民、専門家、企業等からの理解や協

力、支援を目指して、「歴史を生かしたまちづくりセミナー」の開催、「歴史を生かしたまちづくり横濱新聞 38 号」の編集・印刷、歴史を生かしたまちづくり広報誌の改訂検討を行った。

① 「歴史を生かしたまちづくりセミナー Vol. 44

歴史を生かしたまちづくり
～鉄道記憶を生かした横浜のまちづくり～

* 開催内容の詳細は、鉄道 150 周年記念事業の項参照

② 「歴史を生かしたまちづくり 横濱新聞」第 38 号の編集・印刷

印刷部数は 3,500 部。市民、横浜市関係機関(市民情報センター、各区広報相談部署、各図書館、山手西洋館等)、当公益社団会員等への配布を行った。

発行日：令和 4 年 11 月 30 日

③ 歴史を生かしたまちづくり広報誌の改訂検討

『都市の記憶 横浜の主要歴史的建造物』(改訂第 6 版、平成 26 年 4 月発行)の改訂に向けて、修正が必要な箇所の洗い出し、掲載内容に関する専門家へのヒアリング等を行った。

2. 会員事業

当公益社団の事業の益々の発展を目的に、広く継続的な支援を得るために賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ個人会員の募集を行った。また、個人会員、賛助会員、団体会員等を対象とした会報誌「ヨコハマヘリテイジスタイル」を年に 4 回(季刊)発行するとともに、ホームページを通じて活動を広く発信した。

●ヨコハマヘリテイジスタイル 2022 年夏号(7 月 31 日発行)

1 ページ：「横浜港の汽船道に架かる橋梁群」

増淵文夫(当公益社団社員・ものづくり大学名誉教授)

2～3 ページ：「公益社団法人横浜歴史資産調査会令和 4 年度事業計画」

米山淳一(当公益社団 常務理事)

4 ページ：鉄道開業 150 周年(連載 6) 古賀 学(当公益社団理事・松蔭大学教授)

：鉄道開業 150 周年事業計画

●ヨコハマヘリテイジスタイル 2022 年秋号(11 月 30 日発行)

1 ページ：「旧長浜検疫所一号停留所の歴史的価値」

吉田鋼市(当公益社団会長・横浜国立大学名誉教)

2 ページ：「旧長浜検疫所一号停留所の保存運動について」

金間誠一(NPO 法人野口英世よこはま顕彰会)

3 ページ：宮村 忠会長ご逝去

宮村先生のご功績

増淵文夫（当公益社団社員・ものづくり大学名誉教授）

追悼メッセージ「思い出すこと」吉田鋼市

「横浜の都市デザインに尽力」西脇敏夫

「海原のような人」米山淳一

4 ページ：鉄道開業150周年記念事業報告

：旧モーガン邸再建のためのご寄付のお願い

●ヨコハマヘリテイジスタイル 2023 早春号（1月31日発行）

1 ページ：生糸貿易の始まりと横浜

西川武臣（横浜開港資料館長）

2 ページ：「シルク」をめぐる川越、前橋、八王子、横浜の取り組み

「川越、前橋、横浜絹物語フォーラム」の開催

藤井美登利（NPO法人川越きもの散歩）

「八王子から全国の繊維産地へと足を運んで

奥田博伸（奥田染工場・つくるのいえ）

3 ページ：シルク博物館と横浜スカーフ

4 ページ：シルクロード・ネットワーク神戸フォーラム 2022 開催のお知らせ

：上毛電鉄現役最古電車乗車と桐生市内探訪研究集会開催のお知らせ

：旧モーガン邸再建のためのご寄付のお願い

●ヨコハマヘリテイジスタイル 2023 春号（3月31日発行）

1 ページ：関東大震災から100年目 今こそ「モーガン邸」の再建を
水沼淑子（当公益社団理事・関東学院大学名誉教授）

2 ページ：旧モーガン邸の再建・管理

「正念場・モーガン邸の再建に向けて

米山淳一（当公益社団常務理事）

「これからの旧モーガン邸」

佐藤理沙（NPO法人モーガン邸を守る会）

3 ページ：横浜歴史資産調査会法人化10周年と歴史を生かしたまち
づくり30周年記念式典・祝賀会開催報告

米山淳一（当公益社団常務理事）

4 ページ：旧湘南電鉄瀬戸変電所の活用に向けて

亀井泰治（当公益社団研究員）

：シルクロード・ネットワーク神戸フォーラム 2022 開催報告

：旧モーガン邸再建のためのご寄付のお願い

3. 周年特別事業

横浜歴史資産調査会法人化10周年と歴史を生かしたまちづくり30周年記念式典・祝賀会の開催

令和元年度に開催を予定していた標記行事については、コロナ感染症拡大のため、令和2年度に開催を延期した。しかし、令和2年度中の開催がかなわず、さらに令和4年3月19日（金）にホテルニューグランドにて開催を計画したが、令和4年1月7日に発令された緊急事態宣言等を踏まえ、

再度延期した。そして遂に令和5年2月14日（火）、めでたく開催し約70名のご出席をいただき盛会となった。

次 第

- ・開会挨拶 吉田鋼市（当公益社団会長）
- ・来賓挨拶 後藤 治氏（工学院大学理事長）
西脇敏夫氏（元横浜市都市デザイン室長）
福山一男氏（公益財団法人横浜市緑の協会理事長）
- ・表 彰 山本博士氏（株式会社三陽物産代表取締役社長）
宮村七重さん（前会長夫人）
- ・鏡 割 北澤良枝さん・哲夫さん（北澤 猛氏ご家族）
小沢 朗氏（元横浜市都市デザイン室長）
- ・乾 杯 内山哲久（当公益社団監事）
- ・講 演 森 まゆみ（当公益社団理事・作家）
- ・ピアノ演奏 後藤 泉さん（ピアニスト）解説 長谷川正英氏（横浜市）
- ・曲 目 J、S バッハ〜グノー：アヴェ・マリア
パッフェルベル：カノン
モーツアルト：オペラ魔笛より序曲
- ・祝 辞 亀井泰治氏（元横須賀市建築指導課長）
比留間彰氏（鎌倉市副市長）
- ・中じめ 水沼淑子（当公益社団理事・関東学院大学名誉教授）
- ・閉会挨拶 関 和明（当公益社団副会長・関東学院大学名誉教授）
*司会 米山淳一（当公益社団常務理事）

4. 書籍販売事業（収益事業）

令和4年度においては、当公益社団での直売及び委託販売先12カ所において、以下の刊行物を販売した。

- ・「都市の記憶—横浜の主要歴史的建造物(第6版)」
販売冊数：19冊
- ・「ヨコハマヘリテイジ・ブックレット2〜 港・鉄道・横浜」
販売冊数：19冊
- ・「都市の記憶—横浜の土木遺産」（昭和63年発行・平成元年第2刷）
販売冊数：2冊

以 上